Vixen

“天体メニュー”画面に“導入天体リスト”を追加

※赤道儀に付属の取扱説明書も併せてお読みください。

最近導入した天体（天体メニューで指定した天体）を最大 20 個記憶します。電源を切ってもデータは維持されますので、次回観測時に参照および自動導入に対応します。メモリの初期化を行うことで消去されます。

“導入天体リスト”の表示方法

1、(7 OBJECT) を押します。“天体メニュー”画面が表示されますので、方向キー (▲) (▼) で“導入天体リスト”を選択します。

2、最近導入した天体リスト（最大 20 個）が表示されます。方向キーで (▲) (▼) 天体を選択し (ENTER) または方向キー (▶) を押すと天体が選択されます。以降、通常の方法で自動導入できます。

※自動導入については赤道儀に付属の取扱説明書をお読みください。

・「◎」の表示されている天体は観測可能な天体です。

・「◎」の表示されていない天体を選択すると“地平下のため自動導入できません”というメッセージが表示されます。目標天体（ターゲット）として選択することはできませんが、天体の情報のみ表示されます。

3、終了するには方向キー (◀) を押します。“天体メニュー”画面に戻ります。

メニューをすべて終了するには (CLEAR) を押します。

【補足 1】天体リストがない場合の表示について

1、天体リストがない場合は“導入天体リスト”の右に ▶ が表示されず“天体リスト”を選択できません。

【補足２】自動導入可能天体および制限について

○太陽・月・惑星（準惑星）・彗星・人工衛星は時間とともに天体座標が変わりますが、目標天体（ターゲット）として指定時に反映されますので、自動導入・追尾に対応します。

○彗星・人工衛星の名称・軌道要素を変更した場合、目標天体（ターゲット）として指定時に反映され、表示・自動導入・追尾に対応します。

○ユーザー座標で内容（座標や名称）を変更した場合、変更前の情報が維持されます。このため内容を変更した場合に限り、表示・自動導入・追尾に対応しません。